



旭陵文化講演会を開催しました。

普通科
探究科

旭陵祭(文化祭)の前日である6月7日(金)に、旭陵同窓会が主催する恒例の旭陵文化講演会が開催されました。今年度の講演会では、昭和42年に本校を卒業され、画家として活躍されている広島市立大学名誉教授 堀研(ほり みがく)先生をお迎えしました。堀先生は、本校を卒業されたのち、東京の美術研究所を経て、多摩美術大学に進学されました。大学卒業後、山口県の高等学校において8年間、美術の教員として教鞭をとられたのち、昭和57年から画家として活動されました。活動においては、冷戦下で東西陣営が対立する中、インドネシア、アメリカ、ソビエト連邦など、取材のために様々な国を訪問されました。さらに、平成6年からは、広島市立大学芸術学部で学生の指導に携わられながら、個展の開催などに取り組みられました。



講演会の演題は「感動こそ生きている証 一風の匂・土のにおい・人の温もり」で、画集に残された油絵を示されながら、描いたときのエピソードを紹介されました。そして、「絵は、自分が体験した感動を描くものであることから、完成までにかかる時間には長短がある。時間をかければよいものを描けるわけではない。」と述べられました。また、広島市立大学で教鞭をとられていたときに描かれた「桜シリーズ」を例に挙げられながら、「感性を大きく伸ばすためには、観察力が必要であり、描くものでだけではなくその周辺にも目を向け、しっかり観察しなければならない。」と説明されました。春、夏、秋、冬、それぞれの桜の様子を描き残された、桜シリーズでは、何度も桜を観察するために足を運ばれ、じっくり観察されたことが、お話から伝わってきました。



西高での思い出を話される堀研先生

御講演では、おおよそ50年前に過ごされた下関西高等学校での学校生活も紹介されました。現在の西高とは一味違った学校生活のエピソードを、生徒は興味深く聞くことができました。

旭陵祭において、授業で取り組んだ学習の成果を展示しました。

普通科
探究科

6月8日(土)に開催した旭陵祭において、課題研究で作製したポスターや、2年次生が国語科の授業で取り組んだ「私の好きな歌」を紹介したカードを展示しました。

普通科の2・3年次生が、昨年度の総合的な探究の時間(本校では、「NCA」とよんでいます。)において作製したポスターは、第5回山口県立下関西高等学校探究学習生徒研究発表会において、最優秀賞や優秀賞に選ばれた作品です。また、探究科の3年次生は、昨年度の発展探究の授業で作製したポスターを、これまで学校外で行われた様々な発表会でいただいたアドバイスを生かしながら見直しを行い、完成させたものです。さらに、探究科の1年次生は、4月に取り組んだ西高海峡ディスカバリーの成果をまとめたポスターを展示しました。



生徒が作製した様々な作品を展示

2年次生全員が作製した「私の好きな歌」の紹介では、和歌やポップスなどのジャンルに関わらず、生徒一人ひとりが印象に残った歌をカードにまとめ、来場したみなさんに紹介することができました。

やまぐちサイエンス・キャンプ2024に、8人の生徒が参加しました。

普通科

探究科

山口大学吉田キャンパスで6月9日(日)に開催されたやまぐちサイエンス・キャンプ2024に、普通科の1年次生1人と、探究科の1年次生4人、2年次生3人が参加しました。サイエンス・キャンプは山口大学理学部の先生方の御指導をいただきながら、大学の実験器具や測定機器など、普段高校生が扱うことが少ない器具や施設を使って観察、実験等に取り組むもので、今年度は、数学、情報、物理、化学、生物、地学の6つの講座が開講されました。それぞれの講座には、岩国や山口、宇部、萩高等学校から1・2年生が参加しており、他校の生徒と協力しながら、観察・実験に挑戦しました。本校からは、数学と化学、生物講座にそれぞれ1人の生徒が、物理講座に5人の生徒が参加しました。

数学講座では、高校で学ぶ二項定理を活用して、様々な公式の証明に挑戦しました。物理講座では、素粒子の一つであるヒッグス粒子などミクロな世界と宇宙などマクロな世界の関りについて考えました。午後からは、他校の生徒とグループをつくり、午前の講義で興味をもった話題をまとめて発表しました。化学講座では、ペーパークロマトグラフィーにより色素を分離する方法を学んだ後、葉緑体の色素を分離する実験に挑戦しました。生物講座では、観察、実験を通して昆虫の分類、生態、形態などについて学び、昆虫が地球上で繁栄している秘密について考えました。午後は吉田キャンパスに生息する昆虫の採集や、理学部生物学科の研究室の訪問により、生物学に対する興味がより一層高まりました。

それぞれの講座に分かれて1日間活動しましたが、参加した生徒は大学での学びをしっかり体験することができました。



数学講座



物理講座



化学講座



生物講座

それぞれの講座で、活動する本校の生徒

探究科の1年次生を対象とした、リレー探究を実施しました。

探究科

探究科の1年次生を対象とした6月12日(水)の基礎探究Bの授業において、リレー探究を実施しました。このたびのリレー探究のテーマは、「災害と、災害に備える」で、このテーマに沿った講座を、理科(物理)、保健体育、家庭、外国語(英語)のそれぞれの教科・科目の教員が担当しました。

理科(物理)の講座では、地震や津波などの自然災害が起こるメカニズムについて説明がありました。さらに、予知が難しいといわれている地震の発生を知らせる緊急地震速報やこれから開発が期待されている地震予測の方法が紹介されました。保健体育の講座では、様々な自然災害が起こった際に、私たち一人ひとりの力で被害を最小限に留めるため、普段の生活で心がけておきたいことが紹介されました。家庭の講座では、災害が起こったときに生じる食の課題について考えるため、非常食の特徴やそれぞれの家庭で取り組むことができるローリングストックについて学ぶことができました。外国語(英語)の講座では、3つの講座で学んだことを100語程度の英語にまとめて、互いに披露することができました。



理科(物理)の講座で地震のメカニズムを学ぶ

リレー探究の各講座で取り組んだテーマ

講座	テーマ
理科(物理)	「地震」について、科学的視点で見よう。
保健体育	色々な災害に対応できる能力を考える。
家庭	家庭の中での災害への備えを考える。 ～災害後の食生活を考えよう～
外国語(英語)	3つの講座を通して、災害に備えて何ができるか考え、英語でまとめよう。

生徒はそれぞれの講座の学びから、同じテーマであっても様々な視点から課題を発見できていることに気付くことができました。

普通科

は普通科を、

探究科

は探究科を対象としたプログラムです。